

2023/7/26 版 今後内容が追加変更になりますので最新情報は HP をご確認ください

第 58 回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会

期日：対面：2023 年 8 月 31 日（木）～9 月 1 日（金）（A, B コース並行開催）

場所：対面 北海道大学 工学部

A コース（河川・水文）【行事コード：2323021】 B コース（海岸・港湾）【行事コード：2323022】

テーマ：水工学に関する国際的課題、今後我が国で取り組むべき課題



本研修会は土木学会
の CPD(継続教育)
プログラムとして認
定されています

■ 8 月 31 日（木）

A コース（河川・水文）		B コース（海岸・港湾）	
9:00～ 10:30	清水康行（北海道大学）：河川に関する国際プロジェクト iRIC を例とした国際的取り組み		
10:45～ 12:15	泉典洋（北海道大学）：土砂水理学、 河川地形学研究の世界最前線	10:45～ 12:15	森信人（京都大学）：気候変動を考慮した沿岸 ハザード評価における国際的取り組みの これまでとこれから
13:15～ 14:45	佐藤慎司（高知工科大学）：海岸工学における学融合とグローバル化		
15:00～ 16:30	田中規夫（埼玉大学）： 植生水理学にかかわる研究動向	15:00～ 16:30	内山雄介（神戸大学）：国際的な情報発信の 重要性～Coastal Engineering Journal を例に～

■ 9 月 1 日（金）

A コース（河川・水文）		B コース（海岸・港湾）	
9:00～ 10:30	山田朋人（北海道大学）： 諸外国の豪雨災害事例と気候変動を 含めた風水害リスク	9:00～ 10:30	有働恵子（東北大学）： 気候変動を考慮した海岸地形研究における 国際動向と今後の課題
10:45～ 12:15	片岡智哉（愛媛大学）：水圏における プラスチック動態に関する国際的な 研究動向	10:45～ 12:15	田島芳満（東京大学）：国際的な海岸災害研 究のこれまでとこれから
13:15～ 14:45	椿涼太（名古屋大学）：河川の観測に 関する研究動向と我が国が取り組む べき課題	13:15～ 14:45	伊藤一教（大成建設）：ボスポラス海峡横断 鉄道トンネルを対象にした国際プロジェク トと技術開発
15:00～ 16:30	手計太一（中央大学）：東南アジアに おける水工学研究の将来	15:00～ 16:30	渡部靖憲（北海道大学）：若手海岸研究者の ための英文雑誌投稿への準備、執筆、査読対 応の基礎講座

定 員：対面講義（A コース 120 名，B コース 120 名）

受 講 料：一般 16,000 円，学生・院生 10,000 円

CPD 単位数：両コースとも 1 日当たり 6 単位，2 日合計 12 単位。（1 日のみの参加は 6 単位）

※参加登録をされた方は、申し込み区分に依らず全員が A, B 両コースの共通講義に参加できます。

申込方法：A コース <https://www.jsce.or.jp/events/form/2323021>

B コース <https://www.jsce.or.jp/events/form/2323022>

問 合 先：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559（担当：那須珠実）

備 考：講義の変更等の最新情報に関しては下記のホームページをご覧ください

夏期研修会ホームページ：<https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/229>